

自 己 評 価				学校運営協議会評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校運営協議会委員の意見	
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
生徒の視点に立った 「わかる授業」と家庭 学習の充実	1 学習指導の充実 (1)基礎的・基本的な知識や技能の定着を土台とし、自ら考え、判断し、表現できる力を養う。 (2)教育DXの推進等により、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。	[教務課] 1)「学校で基礎学力をつけることができた」の肯定的回答(生徒)の割合が82%以上をめざす。(R5 79.1%) 2)「学校の授業が充実していると感じる」の肯定的回答(生徒)の割合が75%以上になるよう、工夫された授業の実施を目指す。(R5 73.4%)	[教務課]		
		[進学課] 1)自らの進路について考えるきっかけを持たせるために、進路ホームルームや進路集会、講演会などを年間3回程度行う。 2)学習時間調査において学年+1時間の学習時間を目標とする。(R5 平均学習時間 1・2年とも 1.9時間)	[進学課]		
		[図書視聴覚課] 1)図書館利用と読書機会の増加を図る。生徒一人平均の年間貸出冊数を5.0冊以上にする。(R5 4.2冊) 2)12年次の図書館利用と読書機会を増加させる。各1000冊以上。(R5 1年878冊、2年628冊) 3)文学以外の貸出を増加させる。(とくに設定はなし)	[図書視聴覚課]		
		[学年] 1)基礎基本の定着を図り、欠点科目の減少に努める。 2)自主学習時間の確保に結びつくよう、年間3回は取組の内容を確認・評価する。 3)学力の定着を図る学年集會を各学期に2回以上実施する。	[学年]		
		(下位組織レベル)	活動計画		
	[教務課] 1)2)教師の授業改善につなげる教科会と授業交流週間の実施	[教務課] 1)授業改善や評価について協議する教科会を年6回実施(R5 6回) 2)授業交流週間を年2回実施。授業参観教員数の延べ人数75人以上(R5 延べ56人)	[教務課]		
	[進学課] 1) 考査やテストの意義を伝え、学習習慣を定着させるための適切な内容の一斉テストや定期考査を実施する。 2) 平日の家庭学習時間が「学年+1時間」となるよう、各教科で工夫をした課題の設定を行う。	[進学課] 1)校内で実施する試験の意義や準備の必要性をすべての教員が生徒に対して周知する。また、最新の大学入試や模試の問題傾向を全校で共有し、作問の質の向上に努め作問に反映させる。 2)生徒が自発的に取り組めるワークシートや課題を作成し、授業を通して取組を促す。	[進学課]		
	[図書視聴覚課] 1)読書習慣を身につけるための日常的な読書指導の推進を図る。 2)小論文や受験に関わる指導を契機に読書の内容を充実させる。 3) 趣味的な読書以外にも読書の必要を実感する機会を作る。	[図書視聴覚課] 1)授業機会や個別の指導、図書館だよりなどによって、読書の必要性を見だし問題意識を高揚させる。 2)進路や学問的教養と読書との直接的な関係性について、授業や個別指導の機会に具体的に意識を高める。 3) 社会や世界に対する認識の方法として読書の有効性を説き、学習課題としても読書を啓発する。	[図書視聴覚課]		
	[学年] 1) 予習→授業→復習サイクルの習慣化による、学習内容の定着を図る。 2) 自らの現状を理解した上でそれぞれの課題を設定し、主体的に学習に取り組ませる。 3) 進路目標の達成に向けて、時期に応じた目標設定をさせる。	[学年] 1)タブレットを活用して学習時間を確認し、生徒一人一人に学習習慣の定着を徹底させる。 2)「なぜば成るノート」やタブレットを活用した面談により、取組内容を確認・評価する。 3)学年集會を実施し、適切な時期に意欲を高め、やるべきことを理解させる。	[学年]		

重点課題	重点目標 (全校レベル)	自己評価		学校運営協議会評価 学校運営協議会委員の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価		
生徒の視点に立った 「わかる授業」と家庭 学習の充実	1 学習指導の充実 (1)基礎的・基本的な知識や技能の定着を土台とし、自ら考え、判断し、表現できる力を養う。 (2)教育DXの推進等により、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
		[教科]	[教科]		
		1)国語	1)国語		
		①月2回の課題提出率90%以上。(R5 90%) ②小テストの月2回以上の実施と合格率80%以上。(R5 73%)			
		2)地歴・公民	2)地歴・公民		
		①授業評価による授業満足度を85%以上。 (R5 地歴93.0% 公民84.4%) ②Classiを活用し、1学年地理総合の作図課題等を提出させる (年3回以上)、小テストをWebテストで実施する。 (R5 課題提出3回、小テスト配信4回) ③予習復習プリント(提出課題)提出率95%以上。(R5 96%)			
		3)数学	3)数学		
		①週末課題プリント提出率90%以上。(R5 84.1%) ②小テストの実施と再テスト合格率95%以上。(R5 95.0%)			
		4)理科	4)理科		
		①実験・観察(演示実験含む)を入れた授業を各講座で年間4回以上実施する。 ②長期休業中の課題提出率85%以上。(R5 88.1%)			
	5)英語	5)英語			
	①家庭学習用課題の提出率85%以上。(R5 82%) ②語彙力・文法等の小テスト平均正答率70%以上。(R5 65%)				
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	[教科] ○基礎・基本の徹底と定着 ○学習指導法の改善	[教科]	[教科]		
1)国語	1)国語	1)国語			
・言語に関する知識・理解の深化 ・思考を深める力の育成 ・読む・書く力の向上	①各単元・授業及び定期考査で思考を問う発問を課す。 ②評価のフィードバックを行う。 ③観点別評価を行う。				
2)地歴・公民	2)地歴・公民	2)地歴・公民			
・基礎基本の定着 ・思考力を深める力の育成 ・技能を習得させる活動の実施	①予習復習プリント(提出課題)を実施する。 ②共通テスト対策に取り組み、思考力を育成する。 ③作図ソフトやデータソフトを活用して技能を習得させる。				
3)数学	3)数学	3)数学			
・基本的な概念、原理・法則の体系的な理解 ・数学的な表現を用いた事象の考察の徹底	①週末課題プリントの改良及び配布とフィードバック ②小テストの実施とフィードバック ③現実事象など具体的な教材について、グループで活動したり、ICTを活用したりして、考察を深める活動ができるよう工夫する。				
4)理科	4)理科	4)理科			
・論理的思考力、表現力の育成 ・基礎・基本の定着	①実験・観察のレポートや授業のワークシートの考察等の質問内容を工夫し、生徒の振り返りをしやすくしたり、評価にかしかりできるように工夫する。 ②長期休業中の課題を与え、未提出者なしを目指す。				
5)英語	5)英語	5)英語			
・基礎・基本事項の定着 ・学習意欲および国際性を高めるための授業内容の精選	①語彙・文法・読解等の課題を与え、事後指導まで行う。 ②適切な場面でのICT教材の活用や、生徒の興味を喚起する教材開発を行う。また定期的には小テストを実施し、語彙力および文法力の定着を図る。				

自 己 評 価				学校運営協議会評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標 (全校レベル)	評価指標と活動計画 評価指標	評 価 評価指標の達成度	学校運営協議会委員の意見	
生徒個々の進路希望 を実現するための情報 提供及びキャリア教育の 推進	2 進路指導の充実 (1)進路への興味関心を喚起し、将来を見据えた望ましい職業観・勤労観を養う。 (2)生徒の多様な能力、適性、進路希望に応じた、系統的・組織的な進路指導に取り組む。	[進学課] 1)将来の目標を持ち、進路に対する意識を高めるための集会や講演会を各学年で学期に1回以上実施する。 2)共通テスト出願率70%以上を目指す。 (R5 出願率71.5%)	[進学課]	総合評価・所見	
		[就職課] 1)公務員説明会を生徒の希望職種ごとに各1回以上開催すると共に、校外での説明会に積極的に参加させる。 2)2年生対象にインターンシップを実施し、進路決定に関する意識の向上のため5名以上の参加者を目指す。	[就職課]		
		[キャリア形成支援課] 1)総合的な探究の時間の生徒の満足度70%以上。(R5 65%) 2)理数科学科の生徒の各活動に対する満足度85%以上。 (R5 98.9%) 3)キャリア・パスポートを年間4回以上生徒に記入・整理させる。(R5 4回以上記入:30.4%)	[キャリア形成支援課]		
		(下位組織レベル)	活動計画		
	[進学課] 1)進路選択に関する情報提供を充実させる。 2)全職員がデジタル情報サービスを通じて生徒の学力状況を共有し、組織的かつ手厚い進路指導を継続する。	[進学課] 1)学年団やPTAと連携した進路保護者会を学年ごとに開催する。 2)Classiやホームページ等を活用し、生徒や保護者に進路情報の発信を行う。 3)教職員全員にデジタルサービスへの登録を促し、活用の仕方を伝達する。	[進学課]		
	[就職課] 1)就職活動の情報源として、各種説明会や職場見学に加えてインターネットの活用を図る。 2)生徒のキャリア教育推進のための校外体験活動を推進する。	[就職課] 1)・自衛官・刑務官・警察官等の説明会を実施する。また公務員模試を複数回実施する。 2)ハローワーク提供の高校向けインターネット求人情報を最大限に利用する。 3)生徒の希望する職種でインターンシップに協力してもらえる事業所を開拓する。	[就職課]		
	[キャリア形成支援課] 1)2)将来への展望を持たせることにより、目標設定や社会に参画する意識を高め、社会的・職業的な自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育成する。	[キャリア形成支援課] 1)普通科 総合的な探究の時間 ①フィールドワークなど生徒の探究活動への主体的な取組を推進する。 ②生徒が取り組んだ内容について、外部講師を招聘し、年間2回発表会を開催する。 2)理数科学科 SP-time ①生徒の探究活動への主体的な取組を推進する。 ②生徒が取り組んだ内容について、外部講師を招聘し、年間2回発表会を開催する。 3)年間5回のキャリアパスポートの日に、生徒に記入・整理させることを通して、自己の生き方や進路を真剣に考える態度を育成する。	[キャリア形成支援課]		

自 己 評 価				学校運営協議会評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校運営協議会委員の意見	
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
部活動のさらなる活性化を図るとともに、生徒会や各種委員会の諸活動を充実する。		[特別活動課] 1)部活動入部率の向上を目指し、生徒の自主的活動を促す。部活動を通して集団の一員として必要な協調性・責任感・連帯感などの力を身につけさせる。部活動教育貢献度を80%以上を目指す。 (R5 生徒79% 保護者77%) 2)生徒会・各種委員会を中心とし、生徒主体で学校行事(球技大会・学校祭・予餞会・激励会など)に取り組み、活性化を図る。生徒評価で肯定回答を80%以上を目指す。 (R5 79%)	[特別活動課]		
	3 特別活動の充実 (1)生徒の自主的活動を推進することにより、個性を伸ばし、主体性や行動力を養う。 (2)部活動の適正化、活性化により、生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育てる。				
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
		[特別活動課] 1)部活動活性化のために、部活動連絡協議会を開催し、生徒主体で魅力ある部活動の運営を目指す。 2)生徒会活動・各種生徒委員会の活性化を推進する。	[特別活動課] 1)各学期に部活動連絡協議会を開催し、部活動の在り方や要望など、生徒が自主的に活動を進めることを促す。 2)生徒総会の開催・各種生徒委員会の開催を通して、生徒主体の様々な活動を進めながら活性化を図る。		

重点課題	重点目標 (全校レベル)	自己評価		学校運営協議会評価		次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価	学校運営協議会委員の意見		
豊かな心を育み、幅広く調和のとれた人材の育成と人権教育活動の充実	4 人権教育の推進 (1)人権尊重の精神の涵養に努め、人権意識の高揚を図る。 (2)教育活動全体を通して豊かな人間性を形成し、互いに尊重する態度を育成する。	評価指標	評価指標の達成度	学校運営協議会委員の意見		
		活動計画	活動計画の実施状況			
		[人権教育課] 1)人権ホームルーム活動に対する生徒の評価で、肯定評価を81%以上にする。(R5 79.6%) 2)人権教育関連行事に対する生徒の評価で肯定回答を83%以上にする。(R5 82.6%) 3)各教科における人権学習・人権教育を必要に応じてICTなどを活用して計画的に実施する。(R5 おおむね良好) 4)生徒対象の人権教育講演会を年2回以上実施し、肯定評価を83%以上とする。(R5 82.6%) 5)全体の人権教育研修会を年1回以上実施する。(R5 3月に実施)	[人権教育課]			
		[人権教育課] 1)ホームルーム活動の充実 2)人権集会・人権習慣に向けての取組の充実	[人権教育課] 1)アンケートを実施し、社会の状況や生徒の学びに合わせて資料を集め採択し、ICTを活用するなど展開を工夫する。 2)人権集会・人権月間に向け、人権委員や社会問題研究会の部員を中心とした生徒に人権問題をテーマとした展示物を作成し、啓発に努める。 3)各教科において、年度当初に立てた計画に従って人権学習・人権教育を実施する。 4)生徒・保護者対象の人権教育講演会を5月と11月に実施する。 5)教員対象の人権教育研修会を12月に実施する。			

重点課題	自己評価		評価		学校運営協議会評価	次年度への課題と今後の改善方針
	重点目標 (全校レベル)	評価指標と活動計画 評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	学校運営協議会委員の意見	
規範意識の一層の向上とルールを守りモラルやマナーを大切に する心、いじめをゆるさない心の育成	5 生徒指導の充実 (1) 基本的な生活習慣の確立を図り、節度と品位のある礼儀正しい生活態度を育成する。 (2) 個々の生徒の状況に応じた指導や支援を行う。 (3) いじめを「しない・させない・見過ごさない」決意を学校全体で共有し、実践する。	[生徒指導課] 1) モラルや社会的マナーの指導の強化について、生徒・保護者の肯定回答を83%以上とする。 (R5 生徒 83% 保護者 81%) 2) 年間総遅刻数を前年に比べ10%削減する。 (R5 3学期末で1637人) 3) 軽微なものも含め、登下校時の交通事故件数を前年に比べ10%削減する。 (R5 交通事故件数 23件 3学期末) 4) いじめを許さない指導。いじめアンケートを年2回実施する。	[生徒指導課]			
	(下位組織レベル)	評価指標	活動計画の実施状況			
	[生徒指導課] 1) 道徳的・社会的マナーの指導と情報モラルの育成 ① 頭髪服装指導の強化 ② 情報機器の安全な使用方法と個人情報の自己管理の徹底 2) 安全教育の徹底 3) いじめ調査アンケートの実施と活用	[生徒指導課] 1) 日常的に行うこととし、学校行事や学年集会では指導を徹底する。 ① 頭髪服装検査(年間3回必須、全体行事前) ② ネット被害の現状等講演会の実施 2) 立哨指導の継続と安全に対する意識の変容に努める。 ① 交通安全教室の開催(年1回全学年) ② 各学期ごとに一斉指導を実施 ③ クラス毎に年1回の交通安全ホームルーム活動を実施 ④ 学年集会での注意喚起 ⑤ 毎月20日マナーアップ活動の実施 3) 7月・12月にいじめアンケートを実施し、現状把握すると共に担任面談等に活用する。	[生徒指導課]			

重点課題	重点目標 (全校レベル)	自己評価		学校運営協議会評価		次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価	学校運営協議会委員の意見		
環境問題の理解と身の回りの環境美化実践および防災意識の啓発		評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見		
		[環境防災課] 1)清掃活動の取組について肯定解答80%以上を目指す。 (R5 78.3%) 2)年間に防災避難訓練を2回、机下避難訓練を2回実施する。防災クラブの活動を進める。 3)ゴミの分別・資源保護の取組について肯定回答82%以上を目指す。 (R5 81.0%)	[環境防災課]			
		活動計画	活動計画の実施状況			
		[環境防災課] 1)環境委員会を中心にさまざまな活動を通して環境問題についての意識啓発をする。 2)生徒会と環境委員会を中心として啓発を推進する。 3)防災委員会の活動を通して、知識や実践力を身につける。	[環境防災課] 1)生徒・職員で毎日清掃作業を行う。 2)ゴミ分別や節電、節水、紙のリサイクル活動を推進する。 3)防災研修会への参加や防災に関する学校行事を行う。防災クラブ活動を進め、防災意識の啓発も進める。	[環境防災課]		

重点課題	重点目標 (全校レベル)	自己評価		学校運営協議会評価 学校運営協議会委員の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価		
学校外との交流・連携 やHPによる広報活動 のさらなる活性化とボ ランティア活動を支援 する校内組織づくりの 推進	7 魅力ある学校づくりの推進 (1)スクール・ミッション及びスクール・ポ リシーに基づき、学校評価を充実させ、 本校のこれまでの強みを生かしつつ、魅 力ある学校づくりを推進する。 (2)ドイツ姉妹校交流の推進等により、 生徒の国際性の育成を図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
		[学校評価委員会]	[学校評価委員会]		
		1)保護者アンケートの回収率80%以上をめざす。 (R5 79.0%)			
		2)学校運営協議会を年3回開催する。 (R5 3回開催)			
		[情報教育課]	[情報教育課]		
		1)ホームページについて改訂を行うとともに、情報の速やか な発信に努める。			
		[国際交流課]	[国際交流課]		
		1)ドイツ姉妹校との学校間交流を定期的に行う。			
		2)県内における国際交流の活動を周知し、積極的な参加を 呼びかける。			
		3)本校ALT(外国語指導助手)との交流を通して、県内におけ るスピーチコンテストへの積極的な参加を呼びかける。			
	[特別活動課]	[特別活動課]			
	1)ボランティア活動への積極的な参加を呼びかける。				
	[総務課]	[総務課]			
	1)新型コロナウイルス感染症への対応が見直されたことを受 け、以前行っていたPTA活動をできるだけ復活させ、さらに活 性化させる。また、ホームページでPTA活動の報告をし、保護 者がより興味を持ち、参加しやすい状況をつくる。				
2)業務を円滑に遂行する。					
(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況			
[学校評価委員会]	[学校評価委員会]	[学校評価委員会]			
1)学校評価を充実させ、次年度のさらなる改善に役立てる。	1)職員・生徒・保護者アンケートを11月に実施する。				
2)学校運営協議会との協力体制を図る。	2)学校運営協議会を各学期に1回開催する。				
[情報教育課]	[情報教育課]	[情報教育課]			
1)ホームページ運営上の組織及びホームページの体系について見直しを行う。	1)学校からのお知らせを速やかに発信するとともに、生徒の 校内外の活動を広報できる魅力のあるホームページづくりに 努める。				
[国際交流課]	[国際交流課]	[国際交流課]			
1)ドイツ姉妹校交流の推進	1)全校生徒にドイツ姉妹校交流を紹介し、できるだけ多くの生 徒が積極的に参加するよう呼びかける。				
2)徳島県内におけるスピーチコンテストへの参加の促進	2)県内におけるスピーチコンテストについて、全校生徒、教職 員に周知し、積極的な参加を呼びかける。				
[特別活動課]	[特別活動課]	[特別活動課]			
1)ボランティア活動への積極的な参加の奨励	1)ボランティア活動案内により、多くの生徒の積極的な参加を促 す。				
[総務課]	[総務課]	[総務課]			
1)PTA活動の円滑な運営と充実・活性化	1)PTA活動における各種連絡調整や、新たな研修等を企画 する。				
2)学校行事等における外部との連絡調整	2)城北祭で保護者が参加しやすい運営方法を提案する。				

重点課題	重点目標 (全校レベル)	自己評価		学校運営協議会評価		次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価	学校運営協議会委員の意見		
運営組織の活性化と 教職員研修の充実	8 学校の運営体制の充実 (1)教職員一人ひとりが学校経営の当事者意識を持ち、課題解決のために組織的に取り組む。 (2)風通しの良い職場環境づくりに努め、コンプライアンスの推進と危機管理体制の徹底を図る。 (3)業務改善を実践するとともに、管理職のリーダーシップのもと、組織的・機動的な働き方改革に取り組む。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見		
		[情報教育課]	[情報教育課]			
		1)情報セキュリティおよびGIGAスクール構想推進のための研修を随時実施する。				
		[コンプライアンス委員会]	[コンプライアンス委員会]			
		1)事件・不祥事等、時宜を捉えて全教職員に啓発や短時間研修を年間20回以上行う。外部講師(コンプライアンス推進室長)を招聘しての研修を1回は行う。				
		2)教職員間の報・連・相を円滑にし、教員1人が問題や悩みを抱え込まないようするとともに危機管理意識を高める。				
		3)業務内容の精選・改善を組織的に推進し、教職員の在校時間縮減を図る。				
	[保健厚生課]	[保健厚生課]				
	1)教職員対象の救急救命講習会を1学期に実施する。					
	2)教職員対象の健康相談会を2学期に実施する。					
	3)各種奨学金の案内や説明会を実施し、必要とする生徒に必要な情報を伝えることで、生徒の就学の機会の確保につなげる。					
	[特別支援教育課]	[特別支援教育課]				
	1)教職員対象の特別支援教育に対する研修を1回以上実施する。					
	2)学校生活において支援の必要な生徒について校内で共通理解を図る。					
[学校全体]	[学校全体]					
1)時間外在校等時間の削減に努める。						
2)ICTによる業務改善を推進する。						
(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況				
[情報教育課]	[情報教育課]	[情報教育課]				
1)教職員研修の充実 2)GIGAスクール構想の推進	1)ICTを用いて全教員が授業を実施できるための研修を計画し実践する。 2)Microsoft Teams、Classi、MetaMoJi Classroom等の効果的な使用例について紹介する機会を設け、授業及び学年単位・HR単位の情報発信に活用する。					
[コンプライアンス委員会]	[コンプライアンス委員会]	[コンプライアンス委員会]				
1)教職員研修の充実 2)円滑なコミュニケーションの促進と風通しの良い職場環境づくり 3)ワークライフバランスの推進とメンタルヘルスの保持増進	1)年間2回以上の推進期間及び随時適切な機会を設けて、バランスのとれた啓発・研修を行う。12月に講師を招聘して教職員対象の研修を行う。 2)危機管理に関する具体的な事例に基づく研修を実施する。 3)業務内容の見直しやICT活用による作業の効率化等を行い、教職員の業務負担を軽減する。					
[保健厚生課]	[保健厚生課]	[保健厚生課]				
1)教職員対象の救急救命講習の充実 2)教職員対象の健康相談会の実施 3)奨学金に関する情報提供の工夫	1)教職員対象の救急救命講習会を1学期に実施する。 2)教職員対象の健康相談会を2学期に実施する。 3)生徒や教職員に各種奨学金の案内や説明会を実施するとともに、ホームページにも掲載し、必要な人に必要な情報が伝わるよう工夫する。					
[特別支援教育課]	[特別支援教育課]	[特別支援教育課]				
1)特別支援を必要とする生徒の特性に対する対応を考えケアに努める。	1)教職員対象の特別支援教育について理解を深める研修会を実施する。 2)特別支援の対象となる生徒について校内で理解を深めるケース会議・教科会を実施する。 3)必要のある生徒にはスクールカウンセリングの制度を活用し、支援していく。					
[学校全体]	[学校全体]	[学校全体]				
1)教職員の時間外在校時間の把握 2)ICTの活用による業務の効率化	1)出退勤システムによる時間外勤務の正確な把握と見える化に努め、月80時間を超えた場合は改善のために管理職と面接をする。 2)Joruriのポータル掲載板・回覧板の活用及び会議でのペーパーレス化を図る。					